

# InterSystems 社製品系譜および Caché の未来

第 30 回 日本エム・テクノロジー・学会大会(MTA2003)

シンポジウム I 「M のゆくえ」

佐藤 比呂志 インターシステムズジャパン株式会社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-10-1 日土地西新宿ビル 17F  
TEL: 03-5321-6200 FAX: 03-5321-6209  
e-mail: hsato@intersystems.com

## 1. はじめに

InterSystems 社が、Caché に至るまで過去にリリースした製品および買収した製品の系譜についてまず概観してみる。次に InterSystems 社が今後何に重点をおいて Caché を機能拡充していこうとしているかを述べてみたい。

## 2. InterSystems 社製品系譜

InterSystems 社が関わった M テクノロジの実装としては、年代順に ISM-11、ISM-VX、M/VX、ISM、Open M、Caché となる。買収製品の系譜としては、DataTree 社の DTM、DEC 社の MUMPS-11、DSM-11、VAX DSM、DSM for OpenVMS Alpha、DSM for DEC UNIX、Micronetics 社の MSM がある。そしてそれらの製品群を統合、拡張した製品が Caché である。

## 3. Caché 開発計画

今後の Caché の機能拡充の重点ポイントは、

- セキュリティ機能強化
- スケーラビリティ
- TCO 削減のためのシステム管理製品との連携
- SQL、オブジェクトアクセスのさらなる性能向上
- データベースエンジンの最適化
- モバイルデバイス (Tablet PC, PDA など) 対応

である。